

奈良県の経済動向の概要(令和元年12月)

別紙

統計分析課

奈良県の主要経済指標の動き(対前年同月比)

指標名	消費		生産	投資
	百貨店・スーパー 販売額【全店】	新車販売台数	鉱工業生産指数	新設住宅着工戸数
8月				
9月				
10月				
11月				
最新月の動き	▲8.6% 2か月ぶりの減少	▲11.3% 2か月連続の減少	▲0.5%【前月比】 2か月ぶりの減少	+2.7% 4か月ぶりの増加

指標名	投資	金融	雇用	
	建築着工床面積	国内銀行貸出残高	有効求人倍率 【就業地別】	新規求人倍率 【就業地別】
8月				
9月				
10月				
最新月の動き	3か月後方移動平均 2か月ぶりの増加	+0.3% 4か月連続の増加	▲0.04ポイント【前月比】 2か月連続の減少	▲0.12ポイント【前月比】 2ヶ月連続の減少

	上昇		横ばい		低下
--	----	--	-----	--	----

(参考)各機関の景気基調判断(総括)

	前回公表分	最新公表分
奈良財務事務所 「奈良県内経済情勢報告」	県内経済は緩やかに回復しつつある。 【7月公表分】	県内経済は緩やかに回復しつつある。 【10月公表分】
内閣府 「地域経済動向」【近畿】	一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。【8月公表分】	緩やかな回復基調が続いている。 【11月公表分】
近畿経済産業局 「管内経済動向」	緩やかに改善している。【11月公表分】	緩やかに改善している。【12月公表分】
日本銀行大阪支店 「関西金融経済動向」	関西の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかな拡大を続けている。【10月公表分】	関西の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかな拡大を続けている。【11月公表分】
内閣府 「月例経済報告」【全国】	景気は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、緩やかに回復している。 【11月公表分】	景気は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、緩やかに回復している。 【12月公表分】